

各生産者様

壱岐地域農業振興協議会

農作物の少雨と高温対策について

今季降雨が少なく、高温が続いております。今後も渇水傾向で高温が予想されますので、下記の点に留意され管理をお願いします。



水稲

(全般)

- ①圃場及び畦畔からの漏水防止対策を徹底しましょう。
(水田からの蒸発防止対策として、畦畔雑草を刈って敷きましょう。)
- ②節水(浅水～飽水)管理を行うとともに、排水の循環利用などに努めましょう。
- ③利用可能な代替水源等の検討を地域ぐるみで進めましょう。

(早期水稲)

- ①用水不足は、いもち病多発の要因となるので、発生した場合は防除の徹底に努めましょう。
- ②間断灌水や走水灌水の節水に努めましょう。
幼穂形成期からは、適度な湛水または湿潤状態を保ちましょう。

(普通期水稲)

- ①高温により過繁茂の場合は、蒸散が多くなりますので、早めの中干しを実施しましょう。過度の中干は湛水を困難にする為注意しましょう。
- ②節水管理には、田面の溝切りが有効なため、中干し開始時に溝切を行いましょ。

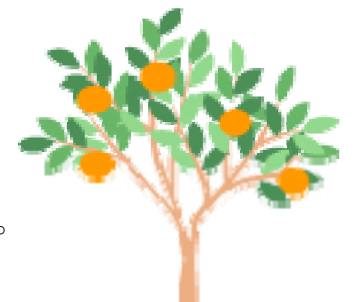
大豆

- ①播種前の圃場準備を早めに行い、降雨の状況を確認して、適期播種に心掛けましょう。



野菜花き全般

- ①播種や定植は、早朝あるいは夕方に行い灌水後直ちに敷きワラ・マルチ等で被覆し、乾燥防止に努める。又、播種・定植後は適宜灌水に努め、早期の発芽及び活着を促しましょう。
その後の過剰な灌水は、根が地表面のみ伸長して僅かな乾燥でも被害をもたらしことになるために避けましょう。
- ②生育中のものは、敷きワラや敷草等を十分に行い、極力灌水に努め、育苗中のものは、寒冷紗等で日よけし下温に努めましょう。
- ③土壤乾燥の激しい時の、中耕除草は避けましょう。
実施する場合は、表面のみ軽く削る程度にとどめましょう。
- ④追肥は固形の肥料では降雨がないと吸収されにくいので、基準よりうすい液肥を施しましょう。
- ⑤ハダニ類・アブラムシ類・うどんこ病等、多発が予想されるので、適期防除に努めましょう。



果樹全般

- ①敷きワラ等を行い、土壤水分の蒸散防止に努めましょう。
- ②極力灌水を行い、干ばつの被害を防止しましょう。
特に幼木はこまめな灌水を行いましょ。
- ③土壤水分の発散を防ぐため草刈りを行い、刈り取った草は樹冠下に敷きましょう。
- ④ハダニ類・カメムシ類等多発が予想されるので、適期防除に努めましょう。

※熱中症に注意し、薬剤散布は早朝の涼しい時間帯に行ってください！

お問い合わせ先

壱岐振興局農林水産部 45-3030

J A 壱岐市営農センター 45-3805